

21015 社会福祉援助技術論 II Social Work Practice II 21015 社会福祉援助技術各論 II		2 年次～ 通年 4 単位	
担当者	矢野 明宏	履修可能学科	W
		関連資格	教職・社福士必 (W)
サブタイトル	間接援助技術の方法と技術		
授業内容 ・ ねらい	<p>この授業は社会福祉援助技術のうち、間接援助技術といわれる地域援助技術（コミュニティーワーク）、社会福祉調査法などについて学びます。</p> <p>社会福祉の援助技術としては直接援助技術の方がイメージしやすいかと思いますが、これからは地域福祉の時代といわれています。社会福祉援助技術の中で間接援助技術を身に付けておくことは今後の社会福祉実践、さらには一人の市民として地域社会のことを考えるためにも大切なことです。</p> <p>授業では実際の事例などを提示しながら、知識を活用して、一緒に考えていきながら、学びを深めていきます。</p>		
授業計画	(前期) 1. 相談援助における対象の理解① 2. 相談援助における対象の理解② 3. ケースマネジメント (ケアマネジメント) ① 4. ケースマネジメント (ケアマネジメント) ② 5. グループを活用した相談援助① 6. グループを活用した相談援助② 7. グループを活用した相談援助③ 8. 相談援助における社会資源の活用・調整・開発① 9. 相談援助における社会資源の活用・調整・開発② 10. さまざまな実践モデルとアプローチ I ① 11. さまざまな実践モデルとアプローチ I ② 12. さまざまな実践モデルとアプローチ I ③ 13. さまざまな実践モデルとアプローチ II ① 14. さまざまな実践モデルとアプローチ II ② 15. さまざまな実践モデルとアプローチ II ③	(後期) 1. さまざまな実践モデルとアプローチ III ① 2. さまざまな実践モデルとアプローチ III ② 3. さまざまな実践モデルとアプローチ III ③ 4. さまざまな実践モデルとアプローチ III ④ 5. さまざまな実践モデルとアプローチ III ⑤ 6. ケースカンファレンスの技術① 7. ケースカンファレンスの技術② 8. 相談援助における個人情報の保護① 9. 相談援助における個人情報の保護② 10. 相談援助における情報通信技術の活用 11. 事例研究の手法 12. 事例研究の実際：高齢領域 13. 事例研究の実際：障害領域 14. 事例研究の実際：児童領域 15. 授業のまとめと習得度の確認	
教科書 参考書	社会福祉援助技術各論 I と同じ		
評価方法	授業への参加状況、授業中に課すレポート、試験などをもとに総合的に評価します。		
事前準備学習 履修条件等	社会福祉援助技術総論が単位修得済みであること。 授業中の私語・飲食は慎んでください。授業の妨げとなる場合には退出してもらった場合もあります。		